



平成24年2月7日

各 位

上場会社名 株式会社 博報堂DYホールディングス
代表者 代表取締役社長 戸田 裕一
(コード番号 2433)
問合せ先責任者 IR部長 八木 聡
(TEL 03-6441-9033)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年11月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	943,000	14,400	16,400	6,400	168.57
今回修正予想(B)	972,000	18,000	20,000	5,600	147.50
増減額(B-A)	29,000	3,600	3,600	△800	
増減率(%)	3.1	25.0	22.0	△12.5	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	936,476	14,266	17,107	4,550	118.18

修正の理由

平成23年11月の時点では、国内広告市場回復のタイミングが、やや期初の想定よりも早く、通期の業績が期初の予想を上回る可能性があるとして見ておりました。しかしながら、その時点では、予想を変更するだけの確かな判断材料がなかったため、通期の業績予想については、5月12日に公表しました予想から変更を行いませんでした。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比2.7%増加と回復基調が鮮明となり、また、第4四半期の売上高見通しも堅調であることから、今回、通期の連結業績の見直しを行いました。

その結果、通期の売上高を、前回公表時の見通し9,430億円(前年同期比0.7%増)から、9,720億円(同3.8%増)に修正しております。また、引き続き、売上総利益率の向上、販売費及び一般管理費のコントロールに努めることで、営業利益、経常利益とも前回公表時の見通しを上回る見込みであります。しかしながら、当第3四半期連結累計期間に特別損失に計上した減損処理による投資有価証券評価損が第2四半期連結累計期間から増加したことや、法人税率引下げに関する法律が公布(平成23年12月2日)されたことに伴い、繰延税金資産の一部取り崩しを織り込んだことなどにより、当期純利益は、前回公表時の見通しを下回る見込みであります。

(注1)当社は、投資有価証券の減損処理に当たっては、四半期洗い替え法を採用しており、平成24年3月期末日の時価によつては、投資有価証券評価損計上額が変動する場合があります。

(注2)業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断する一定の条件に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上